

## 1. 第 14 回アルミ用途開発講演会を開催

11 月 8 日 (金) 富山県産業技術研究開発センターにおいて、当講演会を主管する技能技術委員会八田委員長のご挨拶に続き、2 名の講師からカーボンニュートラルに向けた産官での動向をテーマに講演いただきました。

当日は、会場から多くの質問があり、各社のカーボンニュートラルへの関心の高さを感じました。



講演者と講演テーマは、次の通りです。

講演 1. テーマ :『素形材産業を巡る動向と AMへの期待』

経済産業省 製造産業局 素形材産業室

技術担当係長 白石 亮佑 氏

講演 2. テーマ :『神戸製鋼グループの鉄鋼

およびアルミニウムのカーボンニュートラル戦略』

株式会社神戸製鋼所 鉄鋼アルミ事業部門

技術企画部企画グループ 兼 事業戦略部GXグループ

次長 木村 申平 氏

## 2. 令和 6 年度高岡市技能功労者を受賞

10 月 31 日 (木) に高岡市役所において、令和 6 年度高岡市技能功労者表彰式が執り行われました。表彰式では、当協会から推薦した

上口 洋一氏・形川 好朔氏・山崎 勉氏  
(以上、三協立山(株)三協マテリアル社)、  
松浦 和範氏 (サンクリエイト(株)) の 4 名が  
角田市長から表彰状と記念品を受けました。



## 3. 運営委員会を開催

11 月 12 日 (火) に本年度 4 回目の運営委員会を開催し、上期の事業および収支の各実績を報告した後、12 月以降の事業計画について審議しました。

## 4. アルミ情報編集委員会を開催

11 月 20 日 (水) にアルミ情報編集委員会を開催し、402 号および 403 号での改善点の確認と 404 号以降の更なる改善について審議しました。

## 5. 12月行事予定

◆12月 9日（月） 18:00～ 12月例会 年末懇親会 高岡商工ビル 10階会議室  
(会場が変更になりました)

## 6. お知らせ

### ☆**AI活用セミナー2024**のご案内

自らAIの開発を行い、社内外問わず最適なAIを選定し、業務改善を行うリコーグループが、第一部で「リコーが考える‘生成AI’の活用と、その未来」、第二部では、「リコージャパンのAI活用実践事例」と題し、セミナーが開催されます。また、第三部では「デジタルバディ生成AIアシスタント」を使ったAI体験が出来ます。来るべき未来に備え、ご興味のある方は、この機会の受講をご検討ください。

開催日時 : 2024年12月10日（火） 13:30～16:00

開催場所 : リコージャパン株式会社 富山支社 富山市牛島町9番5号

その他 : 詳細および申込み方法は、「リコージャパンAI活用セミナー2024」で検索願います。

### ☆**中小企業省力化投資補助金**のご案内

中小機構では、付加価値額や生産性向上を図るとともに、賃上げにつなげることを目的として、人手不足に悩む中小企業等に対して、IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を導入するための事業費の一部を補助することを目的とした補助金が設けされました。

人手不足の解消に向けた施策として活用をご検討ください。

補助対象となる事業および補助率と補助上限額等については、「中小企業省力化投資補助金」で検索願います。

### ☆**省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業**のご案内

SII一般社団法人環境共創イニシアチブでは、省エネルギーの推進を目的に国内で事業を営む法人と個人事業主のみなさまの省エネルギー対策に対し、支援が行われます。カーボンニュートラルに向か、生産設備、空調機器およびLED照明等の入替を計画されていましたら、この機会の活用をご検討ください。

制度に関する詳細については、「SII」で検索願います。

### ☆**講演会「環境経済のススメ」**のご案内

研究推進機構カーボンニュートラル産業創生研究センター・先進アルミニウム国際研究センターの共催により講演会「循環経済のススメ」（研究推進機構カーボンニュートラル産業創生研究センター第1回シンポジウム 兼 令和6年度第4回先進軽金属材料研究集会）が開催されます。

ご興味のある方は、ご参加を検討願います。

開催日時 : 2024年12月18日（水） 13:45～14:45

開催場所 : 富山大学五福キャンパス 共通教育棟 D11 講義室 富山市五福3190番

講 師 : 山本雅資先生（神奈川大学経済学部教授）

主 催 : 研究推進機構カーボンニュートラル産業創生研究センター・先進アルミニウム国際研究センター

参加方法 : 以下のURLもしくは二次元コードからお申ください。

<https://forms.office.com/r/80W1XyfVbM>

申込期限 : 12月16日（月）



# 『With AI』

来たるべき未来は、“AIと共に歩む”

RICOH  
imagine. change.

# AI

# 活用セミナー2024

►リコージャパン富山支社にて  
聴講頂きAI体験会を同時開催

“AIの実践と未来”・最新トレンドとリコーの社内実践事例

生産性  
向上

業務  
改善

ノウハウ  
蓄積

►セミナー開催日◀

2024  
12/10 <Tue.>

## 第一部

### リコーが考える‘生成AI’の活用と、その未来

リコージャパン株式会社 デジタルサービス企画本部

AIソリューションセンター センター長 児玉 哲

## 第二部

### リコージャパンのAI活用実践事例

～AI活用の現実！リアルな現場の声をお伝えします～

リコージャパン株式会社 デジタルサービス企画本部

AIソリューションセンター AIソリューション販売統括室

販売計画グループ リーダー 鷺濱 幸治

開催日 2024年12月10日(火)

ご参加につきましては本チラシの  
“お申込みURL”から事前登録が必要です

ご招待者様限定

主催 リコージャパン株式会社

►お申込みURL◀

<https://event.ricoh.co.jp/public/seminar/view/51095>

※リコールホームページ上ではなく、お手数ですが上記URLの専用サイトからお申込み下さい  
「個人情報の取り扱い」に関して内容をご確認・同意した上でお申し込みをお願いいたします



# AI活用セミナー2024 コンテンツのご紹介

RICOH  
imagine. change.

## 第一部

13:30  
～  
14:10

## リコーが考える‘生成AI’の活用と、その未来

本セミナーでは、AIの基本を振り返りつつ、リコーが取り組みを進めている内容の全体像をご紹介とともに、私たちが取り組みを進める中で、苦労した点を含めてご紹介し、今まさに、業務改善を推進中の皆様への一助となる点をお伝えいたします。

リコージャパン株式会社 デジタルサービス企画本部  
AIソリューションセンター センター長 児玉 哲

14:10～  
14:20

休憩

## 第二部

14:20  
～  
14:50

## リコージャパンのAI活用実践事例

～AI活用の現実！リアルな現場の声をお伝えします～

第二部では、より具体的な実際の活用事例、及び利用しているアプリケーション画面のご紹介をいたします。

リコージャパン株式会社 デジタルサービス企画本部  
AIソリューションセンター AIソリューション販売統括室  
販売計画グループ リーダー 鷺濱 幸治

14:50～  
15:00

休憩

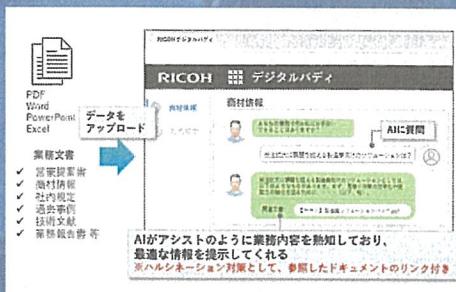
## リアルイベントのご紹介 リコージャパン富山事業所でAI体験を同時開催

## 第三部

15:00  
～  
16:00

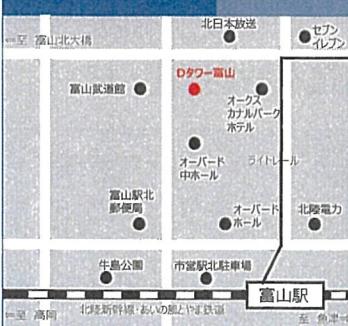
### デジタルバディ 生成AIアシスタント

### RICOH kintone Plus AI連携でアプリ作成



#### 「RICOH デジタルバディ」3つの特長

- カンタン導入
- ×
- カンタン展開
- ×
- カンタン継続



ぜひ、リコーの生成AIを  
体験下さい！

さまざまな仕事に役立つ業務改善プラットフォーム

### RICOH kintone plus

リコーからkintoneが登場！

紙文書や散在しがちなファイルも、  
リコーが提供するkintoneで丸ごと一元管理

#### RICOH kintone plusとは？

- 表計算ソフトよりも快適に、専門システムよりも柔軟に、システム開発よりスピーディー＆低コストに、思いついた業務改善をすぐに実現できるクラウド型の業務アプリケーションツールです。プログラミング無くデータベースの作成が可能で、日報や顧客管理・案件管理・請求書・出荷履歴やクレーム履歴など様々な業務に活用することができます。
- 業務システムアプリを必要な物だけ追加できる
  - データを共有し見え方化できる
  - コミュニケーションをシンプルにできる
  - 外部サービスや基幹システムとの連携も

#### RICOH kintone plusならではのオリジナル機能

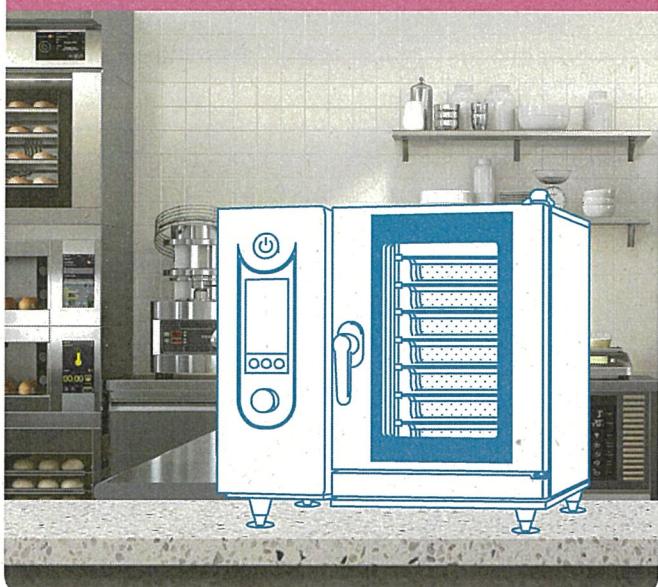
- RICOH kintone plusはkintoneの機能だけではなく、リコーアイオ機器の連携やAPI連携、プラグインをすることで簡単な機能を拡張せたり、外部サービスと連携させることができます。
- リコー複合機との連携  
リコー複合機との連携機能が標準搭載されています。（スキャン・受信・ファックス）
  - RICOH 自動添書きプラグイン  
任意の形式で自動添書きできます
  - RICOH カンタン帳票プラグイン  
レコード一覧画面でかんたんに帳票できます
  - RICOH 標票作成プラグイン  
レコードデータを帳票出力できます
  - RICOH PDFビューアープラグイン  
添付されたPDFファイルをプレビュー表示できます
- RICOH kintone plus アプリストア  
RICOH kintone plus専用のアプリストアでマップアプリパックを無償で利用できます
  - RICOH クラウドファックス連携プラグイン  
kintoneからクラウドファックスを送信できます（※2）
  - RICOH カレンダーPlus  
カレンダープラグイン表示でスケジュール管理できます（※3）
  - RICOH クラウドストレージ連携プラグイン  
ファイルをクラウドストレージに保存できます（※3）
  - AI連携  
AIがチャットやExcel帳票を元にアプリ作成を支援します

11月27日(水)13:30～15:30 ボルファートとやまにて説明会を開催します

例えば、小売業 × 清掃ロボット



例えば、宿泊業 × スチームコンベクションオーブン



中小企業の「人手不足解消」に効果のある「省力化製品」を導入するための補助金

# 中小企業 省力化投資補助金

補助率  
1/2

随时申請受付中!



例えば、飲食サービス業 × 券売機



例えば、製造業 × 無人搬送車

## 中小企業省力化投資補助金とは、

人手不足解消に効果があるロボットやIoTなどの製品を導入するための経費を国が補助することにより、簡易で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

- 対象製品のリスト(カタログ)に登録された省力化製品から、  
自社の課題に合わせて製品を選択できます!
- 「販売事業者」が製品の導入を支援! 申請・手続もサポートします。
- 補助率は1/2! 補助上限額は従業員数ごとに異なります。



Be a Great Small.  
**中小機構**

## ● 補助対象となる事業

人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画<sup>\*1</sup>に取り組むものを対象とします。

申請時に全ての従業員の賃金が最低賃金を超えており、補助金の重複に該当しないことなどの要件<sup>\*2</sup>を満たす必要があります。また、補助金の交付が決定された場合でも事業実績報告の審査によって補助額の減額となる場合があります。

\*1. 公募要領「4-1. 補助対象事業の要件」を参照。

\*2. 公募要領「4-2. 補助対象事業者の要件」を参照。

**どんどん拡大中!**

## ● 補助対象製品のカテゴリ

- ▶ 清掃ロボット
- ▶ 配膳ロボット
- ▶ 自動倉庫
- ▶ 検品・仕分システム
- ▶ 無人搬送車(AGV・AMR)
- ▶ スチームコンベクションオーブン
- ▶ 券売機
- ▶ 自動チェックイン機
- ▶ 自動精算機
- ▶ タブレット型給油許可システム
- ▶ オートラベラー
- ▶ 飲料補充ロボット
- ▶ デジタル紙面色校正装置
- ▶ 測量機
- ▶ 丁合機
- ▶ 印刷用紙高積装置
- ▶ 印刷用インキ自動計量装置
- ▶ 段ボール製箱機
- ▶ 近赤外線センサ式プラスチック材質選別機
- ▶ デジタル加飾機
- ▶ 印刷紙面検査装置
- ▶ 錄物用自動バリ取り装置
- ▶ 自動調色システム
- ▶ 蛍光X線膜厚測定器
- ▶ 自動裁断機 など

※一部の省力化製品については、置き換えであっても交付申請可能です。

## ● 補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	補助事業実施期間に一定以上の 賃上げを達成した場合
5名以下	<b>1/2</b>	<b>200</b> 万円	<b>300</b> 万円に引き上げ
6~20名		<b>500</b> 万円	<b>750</b> 万円に引き上げ
21名以上		<b>1,000</b> 万円	<b>1,500</b> 万円に引き上げ

※各申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは、複数回の応募・交付申請が可能です。

**補助上限額の引き上げ**を適用する場合、事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。

※補助上限額を引き上げたが事業終了までに賃上げ未達の場合は、補助額の減額となります。

## ● 申請から事業完了までの流れ



\*1. 申請にはgBizID(アカウント)の取得が必要です。取得には一定期間を要しますので、お早めにお手続きください。  
\*2. 中小企業のみなさまは、販売事業者からメールにて【招待(インビテーション)】していただいた後、専用フォームからの申請ができます。  
\*3. 購入した製品の売却や転用、破棄などには制限が課され、残存簿価相当額などを返納いただく必要があります。  
\*4. 人員整理・解雇を行っていた場合は、交付決定の取消となる場合があります。  
\*5. 確認できない場合は、交付決定の取消となる場合があります。

本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから

中小企業省力化投資補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



お問い合わせは、本補助事業センターまで  
あらかじめ上記ホームページの掲載資料や「よくあるご質問」をご確認のうえ、お問い合わせください。

ナビダイヤル **0570-099-660**

IP電話などからの  
お問い合わせ **03-4335-7595**

● 受付時間：9:30～17:30／月曜～金曜(土・日・祝日除く)

省力化製品に関する  
工業会・製造事業者・販売事業者のみなさま

カタログ登録  
サポートセンター

**03-6746-1530**

でご相談受付中!

※通話料がかかります。恐れ入りますが、繋がらない場合は、しばらくたってからおかけ直してください。

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは上記ホームページをご確認ください。

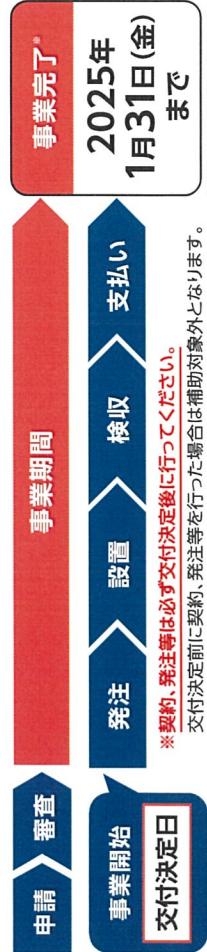
## 令和5年度補正予算

4次公募

# 省エネルギー投資促進・ 需要構造転換支援事業費補助金

公募説明動画をオンラインにて配信します。  
詳しくはSIIホームページでご確認ください。▶ <https://sii.or.jp/>

公募期間	申請 2024年9月13日(金)～2024年10月31日(木) ※交付決定額の合計が予算額に達した場合、公募期間内であっても交付申請の受付を終了します。
交付決定	審査が終わり次第、隨時交付決定を行います。
事業期間	交付決定日から2025年1月31日(金)まで



留意事項

- 当資料は4次公募における事業の概略を説明するものです。申請にあたっては必ず別途公開される公募要領等をご確認ください。
- 補助金申請にあたっては、インターネット環境が必要です。補助事業ポータルサイトにアクセスしてユーザ名を取得のうえ画面の内容に沿って必要事項の入力を行っていただきます。
- 補助金の交付決定の前に、既に契約、発注等がなされた事業者は、交付対象とはなりません。
- 交付決定した事業者名、エネマネ事業者名、補助事業の概要等をSIIのホームページ等で公表します。
- 事業完了(設置完了、検収、支払完了)後、SIIに実績報告書を提出する必要があります。
- SIIの確定検査後に補助金を支払います。
- 導入した設備は、善良な管理者の注意をもつて管理し、補助金の交付の目的に従って、その効率的運用を図る必要があります。
- 設備の稼働後、省エネルギーの実績をSIIに報告する必要があります。
- 導入した設備を財産処分する場合は、予めSIIの承認を得る必要があります。補助金を返還いたします。

申請について、ご不明な点はお気軽にお問合せ下さい。	4次公募期間 2024年9月13日(金)～2024年10月31日(木)	補助率等 補助率:補助対象経費の2/3以内 補助金額の上限:15億円/年度
※申請する型別および企業体によって、適用される補助率・補助金額の上限は異なります。 ※交付決定額の合計が予算額に達した場合、公募期間内であっても交付申請の受付を終了します。	新年度事業 2024年9月13日(金)～2025年1月14日(火)	(IV) エネルギー需要最適化型 ④EMS(エネルギー・マネジメントシステム)導入、燃料転換を伴う設備等の導入
(I) 工場・事業場型 ①先進設備・システム (II) 電化・脱炭素燃転型 ②電化・脱炭素燃転機器の導入 (W) エネルギー需要最適化型 ③電化・脱炭素燃転機器の導入	(I) 工場・事業場型 ①オーダーメイド型設備 03-5565-4463 のうち① ②電化・脱炭素燃転機器の導入 03-5565-3840 ③電化・脱炭素燃転機器の導入 03-5565-4773 ④EMS(エネルギー・マネジメントシステム)導入、燃料転換を伴う設備等の導入	[受付時間] 10:00～12:00、13:00～17:00(土日祝日を除く)



新年度事業 2024年9月13日(金)～2025年1月14日(火)	(IV) エネルギー需要最適化型 ④EMS(エネルギー・マネジメントシステム)導入、燃料転換を伴う設備等の導入
4次公募期間 2024年9月13日(金)～2024年10月31日(木)	(I) 工場・事業場型 ①先進設備・システム 03-5565-4463 のうち① ②電化・脱炭素燃転機器の導入 03-5565-3840 ③電化・脱炭素燃転機器の導入 03-5565-4773 ④EMS(エネルギー・マネジメントシステム)導入、燃料転換を伴う設備等の導入

一般社団法人 SII  
環境共創イニシアチブ



研究推進機構

カーボンニュートラル産業創生研究センター

第1回シンポジウム

兼

令和6年度 第4回 先進軽金属材料研究集会

講演会 循環経済のススメ

- ✓ 研究推進機構カーボンニュートラル産業創生研究センターは、文理の枠を超えて、カーボンニュートラルに関する研究・技術開発を促進する全学拠点となることを目的とし、本年2月に設立されました。
- ✓ また、先進アルミニウム国際研究センターでは、アルミニサイクル技術の確立を通じたカーボンニュートラルの実現に向けて、研究活動を行っています。
- ✓ 今回、2つのセンターが連携し、循環経済に関する専門家を招き、カーボンニュートラルの現状と課題について理解を深める講演会を開催いたします。

会 場 五福キャンパス 共通教育棟 D11講義室  
対面 および zoom

時 間 13:45~14:45

プログラム

開会の挨拶 北島 勲 理事・副学長  
カーボンニュートラル産業創生研究センター長

講 演

「循環経済のススメ—経済学の視点—」  
神奈川大学経済学部 教授  
山本 雅資 先生

質疑応答

閉会の挨拶 柴柳 敏哉 先進アルミニウム国際研究センター長

参加方法

申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/80W1XyfVbM>

※12月16日(月)までに事前申込みをお願いします。



多数の教職員・学生のご参加をお待ちしております！

【主催】研究推進機構カーボンニュートラル産業創生研究センター・先進アルミニウム国際研究センター

▶▶▶ 問合せ先:研究推進部 研究振興課 TEL:076-445-6396 内線(3040)

E-mail:kenshin@adm.u-toyama.ac.jp